

Q 私は前回、働きながらの妊娠であったためか、切迫早産、妊娠中毒症でしたので、妊娠リスク自己評価表で7点でした。こういう自分でも、今回(運が良ければ)自然分娩できるのでしょうか？

A 前回の妊娠経過中に切迫早産や妊娠中毒症(妊娠高血圧症候群)があった場合、今回の妊娠でも同じような状態になる可能性はあります。しかし、早めに生活習慣を改善するなどして予防に努めれば、今回は防ぐことができるかもしれません。また、仮に防げなかったとしても、前回の経験を踏まえて早めの対策が可能です。そうなれば、自然分娩も可能になると思います。

Q NPOの方々や保健師等、医療センター以外の方々がどのように関わって協働、連携するのか具体的に教えて下さい。

A NPOの方々には、現在も両親学級を開催していただいています。産後でも参加できるような教室などで、産後も地域でのNPOの方々の活動にも繋がっていけるとと思います。保健師には産後の訪問活動や、NPOと協力した母親・両親学級の開催などをお願いしていきませんが、細かな活動は今後検討していきます。

Q ハイリスクでその後障害をもって産まれてしまった子供達へどのような治療、社会的支援がありますか？

A ハイリスクにより子供が障害をもつというケースは、いろいろな状況が考えられます。10ヶ月の満期で産まれたけれど障害が残った場合、先天的な疾患を持った場合、早産による場合などがあります。状況によって社会支援の受けられ方が違います。先天異常のケースや早産のケースは、以前から養育医療や育成医療などの補償があります。詳しくは浜松市のホームページ(<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/index.htm>) 生活インデックス 暮らす 福祉、または、はままつ子育てネットワークぴっぴ(<http://www.hamamatsu-pippi.net/>)でご確認下さい。なお、平成21年1月1日から産科医療補償制度というものが始まりました。これは主に、順調に生まれるはずの赤ちゃんが脳性麻痺となった場合を対象としたものです。詳しくは当院ホームページをご参照下さい。

Q 私は40才で2度目のお産なので、リスク自己評価表はハイリスクとなりました。パースセンターでのお産は無理だと思うのですが、助産師外来は受けることができますか？

A パースセンターの助産師外来に時間的余裕があれば対応させていただくつもりですが、通常の医師による妊婦健診でも、医師の補助となる助産師外来は行っています。パースセンターの助産師外来より短い時間ですが、その時間内でもパースプランなどの指導、相談は行っていますので、是非活用していただきたいと思います。

Q これから出産予定で診察に伺うけれど、小さい子供がいるので待ち時間などが心配です。大丈夫でしょうか？

A 小さなお子さんとの受診は全く問題ありませんが、待ち時間などに関しましては総合病院の特性上、多少ご不便をおかけすると思います。予約時間を配慮して、なるべく待ち時間は少なくなるようにスタッフ一同で努力いたします。

Q 妊娠出産にむけて治療している者の不安等も相談できるパースセンターにして欲しいです。妊娠前でも心理士さんに相談したいこともあると思うので・・・

A パースセンターは低リスクの妊婦さんが対象となります。何らかの治療を行っているのであれば通常の医師による妊婦健診になりますが、(No.4で回答したように)産科外来にある助産師外来でもパースプランの話をし、不安や心配なことには十分対応いたします。臨床心理士と連携はパースセンターだけのものではなく、全ての妊婦さん、褥婦さん、患者さんが対象ですので、希望があればいつでも申し出て下さい。

Q 娘が遠い病院で入院しております(9週目)。医療センターへ転院させたいのですが・・・可能でしょうか？

A 当院では転院の受け入れはいつでも可能です。しかし、転院できる状態であるかどうか、現在入院している主治医の先生の判断がないと出来ないと思います。許可があれば、主治医の先生から医療連携室を通し、当院での予約を取っていただければよいと思います。

Q メディカルバースセンターでは助産師の受け持ち制をして頂きたいと思います。

A 今後オープンする施設なので、話し合いをしながら細かな体制は決めてきます。ご期待に沿えるよう努力していきます。

Q メディカルバースセンターについて、今回少し興味があるため、もう少し知りたいと思います。また、開設後の様子を発表していただければと思います

A 当院のホームページをご参照下さい。その都度、新たな情報を提供していきたいと思います。開設後の様子も、逐一ホームページなどでお知らせできるようにしていきたいと思います。

Q メディカルバースセンターが開設する頃は 25 週前後と考えられますが、この頃からでも助産師外来を受けることが可能でしょうか

A 妊娠 22 週以降を目処に助産師外来を受診してもらう予定ですが、それ以降の方でも条件が満たされれば随時受けることは可能です。ただし、バースセンター、助産師外来は人数制限を行う予定ですので、対応できない場合もあり得ることをご了承下さい。

Q オープンシステムを医師だけのものではなく、助産師にも活用させて頂けたらお産を取り扱いたいと思っている仲間はたくさんいます。今後の検討課題に頂きたいです。

A いろいろな方のお力添えがあると良い施設になっていくと思います。今後の検討課題にさせていただきます。良いご提案ありがとうございます。

Q 産褥、退院後の支援を充実して下さい

A NPO の方々や保健師も産褥、退院後の支援に関わる予定ですし、また、母乳外来なども予定しています。入院中も産褥のケアが充実するように今後検討していきます。

Q オープンシステムを採用していることを知らなかったため、どこの診療所がそのシステムになっているかを知らせて貰いたい(次の出産に備えたいので)

A 浜松市全ての産科診療所の医師が院外主治医となり、オープンシステムを利用しての分娩立会いが可能です。詳しくは、それぞれの産科診療所にお尋ね下さい。

Q バースセンターの仕組みや具体的にどのようにお産ができるのかということがわかるパンフレットのような物を作って欲しい

A 皆様に配布できるような資料を順次作成していきますので、今しばらくお待ち下さい。

Q 母親学級の日程、病院での掲示版がホームページで見られると良いと思うのですが…

A 当院の外来予約は、基本的に電話もしくは医療連携室を通しての予約となっておりますので、検討項目とさせていただきます。母親学級などの日程のご案内は、ホームページでも見られるように進めさせていただきます。